

第4委員協議会報告資料

動植物園の現状と今後の取組について

平成27年10月14日

住 宅 都 市 局

I 福岡市動植物園の概要

1. 動植物園の歴史

福岡市動植物園は、かつて昭和天皇即位御大典記念事業として、昭和8年8月に博多区東公園内に開園したが、第二次世界大戦のため昭和19年にやむなく閉園した。終戦後、昭和24年10月の市議会で市制施行60周年の記念事業の一つとして動物園開設の動議が出され、満場一致の賛同を得て成立した。その後、子どもたちや市民の署名活動などもあり、昭和28年8月に現在の南公園内に動物園が開園することとなり、さらに昭和55年6月には、隣接した平尾浄水場跡地に植物園が開園した。南公園に開園以来約60年間、累計入園者数は5,000万人を突破し、現在も多くの市民に親しまれている。



区分	動物園	植物園
敷地面積	103,206㎡(約10ha)	102,251㎡(約10ha)
開設	昭和28年8月22日	昭和55年6月1日
展示数	約120種、580点	約2,600種
施設の特徴	動物展示施設、動物科学館、こども動物園、動物病院、遊具施設、レストラン等	温室、バラ園、水生植物園、紅葉樹林園等の各種見本園、緑の情報館、展望休憩所等
入園料	大人400円 高校生200円 (中学生以下、障がい者の方、市内居住の65歳以上の方は無料、30人以上の団体は2割引)	

◀ 法的な位置づけ ▶

- ・ 動植物園は・・・都市公園法により都市公園に設置できる施設
- ・・・・博物館法による博物館相当施設

2. 動植物園の役割

役割① 種の保存

【動物園】

- ・ 希少動物の繁殖に向け、国内の動物園・水族館で組織する日本動物園水族館協会(JAZA)で、繁殖計画を策定して取り組んでいる
- ツシヤママネコ、アラビアオリックス等の繁殖に成功
- 開園以来、21件の繁殖賞を受賞

※繁殖賞・・・日本動物園水族館協会が規定する表彰の一つで、飼育動物の繁殖に成功し、かつそれが日本で最初であったものに与えられる。

【植物園】

- ・ 「植物多様性保全拠点園」の認定を受け、絶滅危惧種や希少種を収集・保全 → ハカタユリ等の保全・育成



ツシヤママネコ



ハカタユリ

平成15年
「繁殖特別賞」
「技術研究表彰」受賞

役割② 学びの場

【動物園】

- ・ 小学生を対象とした「ふれあい教室」, 「サマースクール」, 中学生以上を対象とした「飼育体験講座」, 一般入園者を対象とした「ZOOスポットガイド」などを開催

【植物園】

- ・ 年間を通して、植物に関わる教室・講座・観察会・展示会を開催
- ・ 「緑の相談所」で、植物の専門家による花と緑の相談
- ・ ボランティアによる園内植物ガイドで、ボランティア、来園者双方の学びの場づくり



サマースクール



ふれあい教室



植物園
ガイドボランティア

役割③ 憩いの場

- ・ 南公園の豊かな自然林と一体となって、市街地に残された貴重な「緑のオアシス」として、さまざまな年齢層の方がさまざまなグループで来園
- ・ 「夜の動植物園」, 「バラまつり」をはじめとした動植物園ならではの各種イベントを多数開催



夜の動植物園



七夕特別企画(サイのタッチング)



春の茶会



バラまつり

アジア熱帯の深谷エリア (平成25年9月完成)



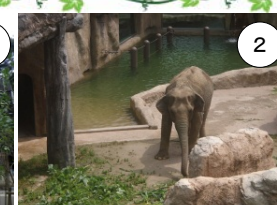
(一社)日本公園緑地協会
「第30回都市公園コンクール」
国土交通大臣賞 受賞!

テーマ

「熱帯アジアの豊かな動物相への興味や理解を高めるために、複数の動物種を同居させた混合飼育や自然界の立体的な生息環境を再現」



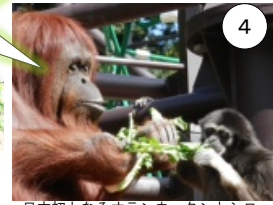
1
バリアフリー化を図った
スロープとエレベーター棟



2
野生で生息している環境を再現して、生き生きとした行動を最大限に引き出す。(生態展示)



3
展示施設内の高層タワーは、樹上生活者の生態空間を立体的に再現し、樹幹を移動する行動を誘発。(行動展示)



4
日本初となるオランウータンとシロテナガザルの混合飼育。



5
生息環境に近づけた熱帯雨林の水辺を再現したコツメカワウソの展示施設



6
観覧者の頭上に動物が来るように動物の習性を生かした立体的な散告。

Ⅲ 入園者の状況

1. 入園者増加に向けた取り組み

- ・体験や学びによって動植物園をより楽しむ新規イベントを多数実施
- ・メディア関係者への積極的な情報提供・営業活動
- ・平成25年度よりSNSを活用した情報発信を開始



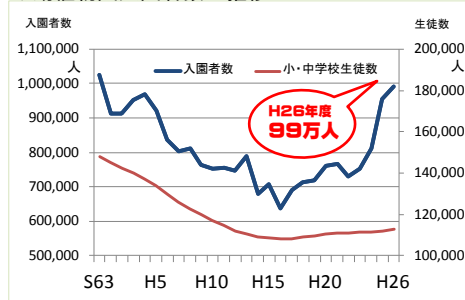
飼育員によるスポットガイド

オオオニバス試乗会

合格ウチ御守り

ふくおか小さな雪まつり

◆ 動植物園入園者数の推移



結果、V字回復!

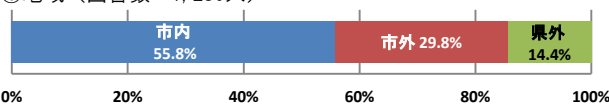
- ・平成に入って漸減傾向、児童生徒数の減少などにより平成16年度には60万強まで入園者が落ち込む
- ・アジア熱帯の渓谷エリアの完成、イベントの活性化、情報発信強化により、平成26年度は99万人まで回復

2. 入園者アンケート

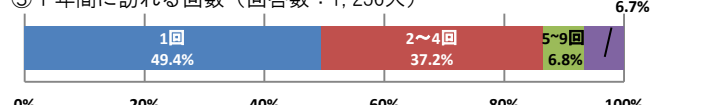
平成27年のゴールデンウィーク期間中に入園者アンケートを実施

○調査日：平成27年4月25・26日、5月2・5日 ○調査方法：入園者に調査票記入依頼 ○回答者数：1,277枚

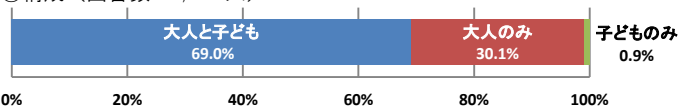
① 地域 (回答数：1,250人)



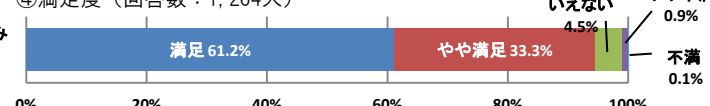
③ 1年間に訪れる回数 (回答数：1,256人)



② 構成 (回答数：1,234人)



④ 満足度 (回答数：1,264人)



・動植物園の入園者は、市内から55.8%、県内からでは計85.6%と、身近な市民の利用が多い

・入園者の構成は、子ども連れが69%と多く、入園者構成の平均を取ると、大人2人+子ども1人であった

・来園頻度は、年2回以上が50.7%を占めるなど、リピーターが多い

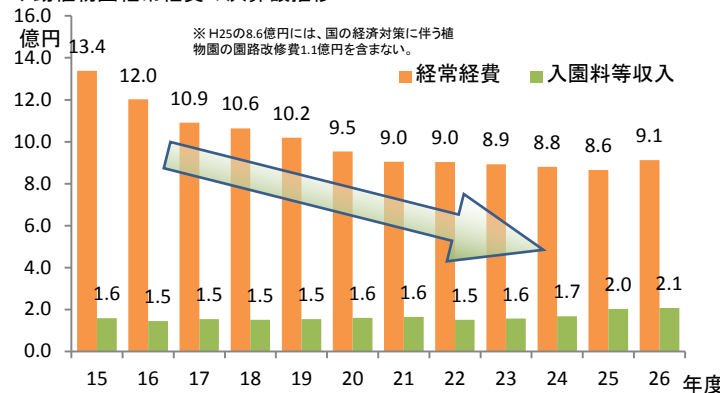
・満足度は、「満足」「やや満足」を合わせると、94.5%を占める

Ⅳ 経営状況

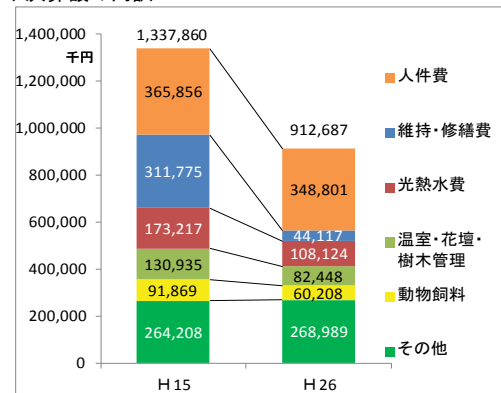
- ・動植物園の経常経費は維持修繕費、光熱水費、動物飼料代の削減により平成15年度と比較して約68%に縮減(△4.3億円)
- ・歳入は入園者増加に向けた取り組みにより約31%増(+5千万円)

- ・遅延している既存施設の修繕や、低減している植物管理水準の回復が必要
- ・リニューアルや入園者の増加に伴う新たな対応が必要

◆ 動植物園経常経費の決算額推移

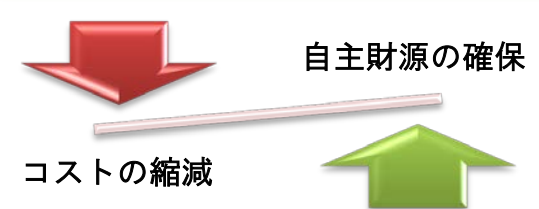


◆ 決算額の内訳



Ⅴ 現状からみえる課題

- ・施設のリニューアルや来園者増加に対応した新たな管理コストが必要となっている
- ・コストの縮減に努めてきたが、入園料を徴収する施設としての最低限の快適性、安全性を維持することさえも困難となりつつある
- ・自主財源の確保に向けた取り組みを行うことで、より自立的な事業収支にしていくことが求められている



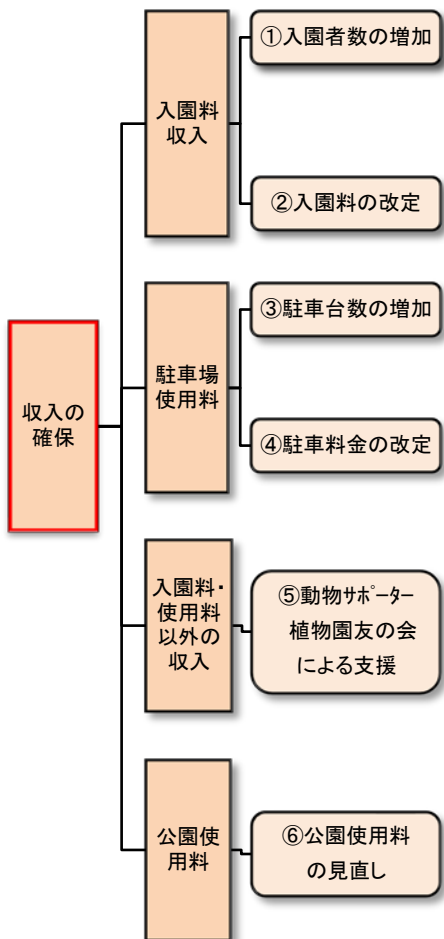
大



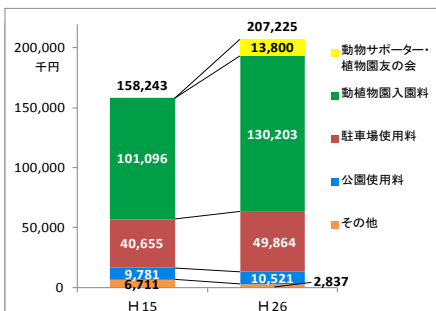
財源に占める割合

小

VI 自主財源の確保に向けた取り組み



◆ 歳入額の推移(雑収入含まず)



対応策	これまでの取り組みと現状	これからの取り組み																																																										
①入園者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物園再生事業の推進 ・メディアへの情報発信やSNSの新規展開 ・イベントの充実等 ・福岡市動植物園再生基本計画の目標(年間100万人)レベルの集客を達成しているが、入園料金が安価なため、入園者数の増加が収入の大幅な改善までは至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターの増加策の継続 ・閑散期の集客対策により、来園者の平準化 ・地域の住民・企業との連携 																																																										
②入園料の改定	<ul style="list-style-type: none"> ・開園から昭和63年までは、3～7年ごとに入園料の見直しを行ってきたが、昭和63年以降、27年間改定を行っていない。 <p>◆入園料改定履歴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改定年度</th> <th colspan="3">入園料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>大人</th> <th>学生</th> <th>小人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S28.8.22</td> <td>30円</td> <td></td> <td>10円</td> <td>大人:18歳以上, 小人:4歳以上</td> </tr> <tr> <td>S32</td> <td>40円</td> <td></td> <td>20円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S36.4.1</td> <td>50円</td> <td></td> <td>20円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S40.4.1</td> <td>70円</td> <td>50円</td> <td>30円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S46.4.1</td> <td>70円</td> <td>50円</td> <td>0円</td> <td>小学生以下を無料</td> </tr> <tr> <td>S49.11.1</td> <td>100円</td> <td>50円</td> <td>0円</td> <td>学生は高校生, 中学生以下を無料</td> </tr> <tr> <td>S53.9.1</td> <td>200円</td> <td>50円</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S55.6.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>植物園開園</td> </tr> <tr> <td>S56.4.1</td> <td>300円</td> <td>100円</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S63.4.1</td> <td>400円</td> <td>200円</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	改定年度	入園料			備考	大人	学生	小人	S28.8.22	30円		10円	大人:18歳以上, 小人:4歳以上	S32	40円		20円		S36.4.1	50円		20円		S40.4.1	70円	50円	30円		S46.4.1	70円	50円	0円	小学生以下を無料	S49.11.1	100円	50円	0円	学生は高校生, 中学生以下を無料	S53.9.1	200円	50円	0円		S55.6.1				植物園開園	S56.4.1	300円	100円	0円		S63.4.1	400円	200円	0円		<ul style="list-style-type: none"> ・動植物園の収入源の中心となる入園料の改定を検討
改定年度	入園料			備考																																																								
	大人	学生	小人																																																									
S28.8.22	30円		10円	大人:18歳以上, 小人:4歳以上																																																								
S32	40円		20円																																																									
S36.4.1	50円		20円																																																									
S40.4.1	70円	50円	30円																																																									
S46.4.1	70円	50円	0円	小学生以下を無料																																																								
S49.11.1	100円	50円	0円	学生は高校生, 中学生以下を無料																																																								
S53.9.1	200円	50円	0円																																																									
S55.6.1				植物園開園																																																								
S56.4.1	300円	100円	0円																																																									
S63.4.1	400円	200円	0円																																																									
③駐車台数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車台数 295台 (動物園90台, 植物園130台, 西展望台75台) ・入園者数の増加と連動して駐車場収入も増加 ・繁忙期は、周辺道路が激しく混雑している 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備(立体化)により駐車台数が295台から550台(H34)に増加予定 																																																										
④駐車料金の改定	<p>≪現行(1日1台あたり)≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型車500円 中型車1,000円 大型車2,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の改修に合わせて、駐車料金の見直しを検討 																																																										
⑤動物サポーター植物園友の会による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園では平成16年から動物のエサ代支援として動物サポーター制度を開始 ・植物園では平成18年から花壇の花苗代として植物園友の会制度を開始 ・平成26年度では、合計13,800千円の収入 ・企業サポーターによる様々な支援も開始(H26現物支援等実績:264万円相当) <p>◆企業サポーターによる様々な支援(寄付)の例</p> <p>動物園食堂前 飲食テント キリンの解説版 企業とのコラボ商品(売上げの一部を寄付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容の見直しや積極的なPRにより、企業サポーターを含め支援者を拡大 ・金銭以外による支援策について検討(ボランティアスタッフの活用, 現物支援の拡大) 																																																										
⑥公園使用料の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・売店やレストラン等の設置・管理許可に基づく使用料として、安定的な収入源となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園正門のエントランス部複合施設の改修に合わせて、使用料の見直しを検討 																																																										

Ⅶ 入園料の分析

1. 全国の主要動植物園の経営状況

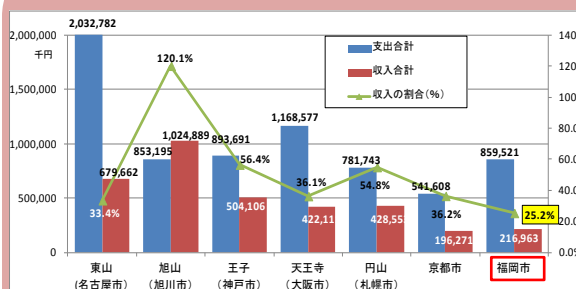
- ・ 経常経費における収支のバランスや財政投入額等について、他都市の主要動植物園と比較した
- ・ 比較園は、入園者数が80万人以上、かつ福岡市と同じ公立直営である7園とした
(東山(名古屋市)と福岡市は動植物園, その他は動物園)

データ：平成25年度日本動物園水族館年報より

※福岡市のみ、H26決算数値にて比較

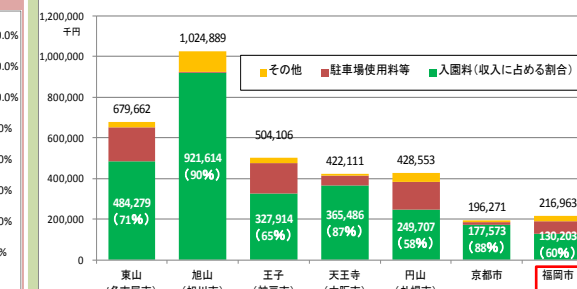
(1) 主要類似施設の支出と収入

※他園と整合性を図るため、経常経費のうち維持・修繕費を除いている。



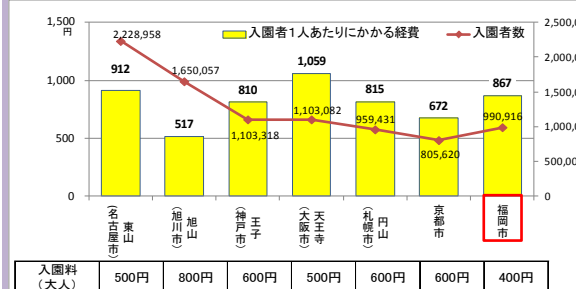
→福岡市は他園と比較して、支出に対する収入の比率が最も低い。

(2) 主要類似施設の収入内訳



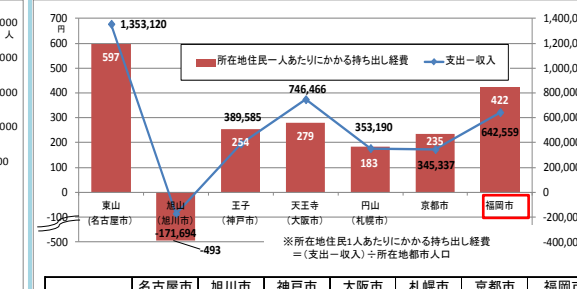
→全ての動植物園で入園料、駐車場使用料等が主な収入になっている。
福岡市は他園と比較して入園料収入が最も少ない。

(3) 主要類似施設の入園者1人あたりにかかる経費



→福岡市は7園の中で平均レベルにあり、入園者1人あたりにかかる経費は入園者数の多寡に連関していない。

(4) 主要類似施設の所在地住民1人あたりの負担額



→福岡市の住民1人あたりの負担額は、7園の中で2番目に高い。

2. 市民意見

- ・ 「入園者アンケート」と「市民アンケート」で、入園料を改定した場合の適正額を尋ねた結果、その大人の平均額はそれぞれ532円、620円であった。

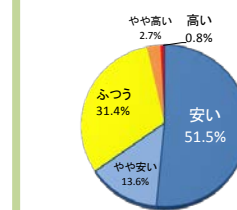
「入園者アンケート」

実施日：平成27年4月25・26日, 5月2・5日
実施方法：入園者に調査票記入依頼
回答者数：1,277人

「市民アンケート」

実施期間：平成26年2月27日～3月14日
実施方法：郵送(1,000人に送付)
回答者数：373人

◆「現料金に対する意見」 (「入園者アンケート」結果)



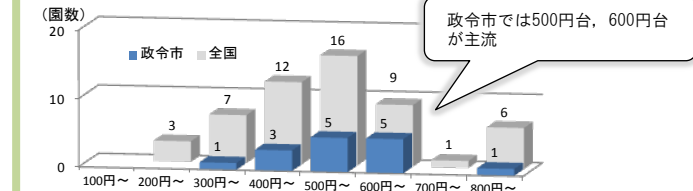
◆「入園料を改定した場合の適正額」の平均額

区分	大人	高校生	中学生	小学生以下	65歳以上
入園者アンケート	532円	330円	165円	80円	128円
市民アンケート	620円	339円	159円	57円	—

3. 他都市動物園の入園料

- ・ 公立動物園については、全国的に500円台、政令指定都市では500円台及び600円台が主流となっている。

◆公立動物園の入園料金分布



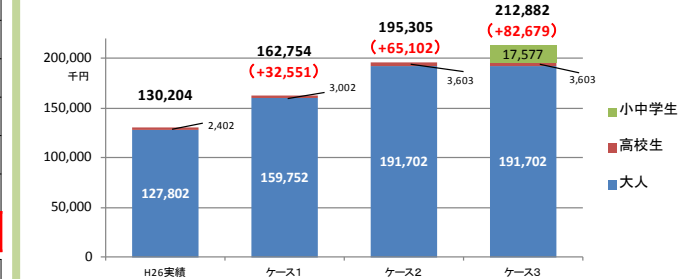
政令市では500円台、600円台が主流

4. 入園料改定シミュレーション

- ケース1 大人500円 高校生250円
- ケース2 大人600円 高校生300円
- ケース3 大人600円 高校生300円 小中学生※100円

※小中学生の学校行事利用は無料とする

- ・ 平成26年度の入園者数をもとに年間入園料を試算すると、ケース1で約3,250万円の増、ケース2で約6,510万円の増、ケース3で約8,270万円の増となる



◆主要類似施設の入園料改定歴(大人)

	S63	H26	増額
東山(名古屋市)	400円	500円	100円
旭山(旭川市)	400円	820円	420円
王子(神戸市)	400円	600円	200円
天王寺(大阪市)	400円	500円	100円
円山(札幌市)	500円	600円	100円
京都市	300円	600円	300円
平均	400円	603円	203円

◆主要類似施設の入園料体系

	大人	高校生	中学生	小学生	参考(入園料例) 大人2人、小学生1人の場合
東山(名古屋市)	500	500	0	0	1,000円
旭山(旭川市)	820	820	0	0	1,640円
王子(神戸市)	600	600	0	0	1,200円
天王寺(大阪市)	500	500	200	200	1,200円
円山(札幌市)	600	600	0	0	1,200円
京都市	600	600	0	0	1,200円
平均					1,240円

福岡市動植物園の平均的な来園構成

	大人	高校生	中学生	小学生	参考(入園料例) 大人2人、小学生1人の場合
福岡市	400	200	0	0	800円